

「ホープツーリズム公式アンバサダー」を委嘱しました。

福島県は、ホープツーリズムの教育的価値や魅力を県内外に広く伝えることにより、ホープツーリズムの認知度を向上させ、多くの方にご参加いただくことを目的に、以下4名に公式アンバサダーを委嘱しました。

協会ではアンバサダーの皆さんと共にホープツーリズムの学びの質の磨き上げと、本県への誘客に引き続き取組んで参ります。

教育分野



福島大学 准教授
前川 直哉 氏

灘高校3年在学時に阪神・淡路大震災で被災。灘中学校・高等学校教諭在職時に起こった東日本大震災と原発事故後、生徒とともに福島・宮城の被災地域を訪れる「東北訪問合宿」を実施。2014年3月に同校を退職し、福島県福島市に移住。福島県内の生徒達の学習支援を行う「(一社)ふくしま学びのネットワーク」を設立。ホープツーリズムのプログラム造成に尽力いただき、学習冊子「福島のある日からいま」の監修も務めている。

教育分野



灘中学校・高等学校 教諭
池田 拓也 氏

灘中学校・高等学校はホープツーリズムを開始した2016年から現在まで毎年継続して「ふくしま学宿」を実施。社会課題を通して過去・現在・未来を考えることができる学びの場として、ホープツーリズムを高く評価。同校での「ふくしま学宿」以外に、「チームHYOGO（兵庫県内複数校でふくしま学宿を実施）」、「あすパ・ユース震災語り部隊（神戸での若者による震災語り部活動）」、「あしや部（芦屋市在住高校生の地域活動）」など「若者と社会をつなぐ活動」を積極的に行っている。

企業分野



浅野撚糸(株) 代表取締役社長
浅野 雅己 氏

本社は岐阜県。福島大学出身。経済産業省の「繊維の将来を考える会」のメンバーとなった際に双葉町との縁が生まれ、工場進出を決意。2023年4月に撚糸工場・ショップ・カフェの複合施設「フタバスーパーゼロミル」オープン。ホープツーリズム連携施設の一つであり、見学者の受入も行っている。双葉町の「交流人口300万人」という目標を掲げ、浜通りの復興をけん引している。政府の復興施策を検証する復興推進委員の一員であり、復興庁の第2期復興・創生期間の総括に関する作業部会メンバーにも名を連ねる。

メディア分野



(株)ON-WORK 代表 映画監督
古波津 陽 氏

東日本大震災後の福島について、さまざまな人が思いを語るドキュメンタリー映画『1/10 Fukushimaをきいてみる』を2013年から毎年1作品制作。全国で上映会を行い、ありのままの福島について伝え続けている。国内外のドキュメンタリー映画祭で高い評価を受け、数々の賞を受賞。2024年3月には、映画上映付きホープツーリズムツアーを実施。福島の変化を記録するシリーズは10作品目にあたる2023年版で一区切りとなったが、今後は防災や国際交流など新たな視点を加えた発信を計画している。